



発行者  
文京学院大学  
女子中学校  
南部 和彦

先進性のある教育を進める

中高一貫部校長 南部 和彦

桜満開のもと四月六日に入学式が挙行されました。一年生に登校時に挨拶をすると元気よく「おはようございます」と挨拶をしてくれます。はつらつとしたその姿を見るたびに文京生を育てている事の喜びと共に責任の重さを感じています。

民間のある調査によれば二〇三〇年には四十九パーセントの仕事がロボットや人口知能によって代替され、単純な情報処理や労働はもはや人間の仕事ではなくなっているとの予測を発表しています。

私立学校には時代の動向を見極め、先進的に特色ある教育の展開を進め、教育界をリードする事が常に求められています。文京学院においては新たな時代を牽引する女性グローバルリーダーの育成が先進性のある教育であると考えています。五年後、十年後の変化の激しい時代にあっても果敢に課題の解決に立ち向かっていく人材の育成を図らねばなりません。

本校は「存知のよう」に、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールとスーパーグローバルハイスクールアソシエイト校の指定をうけています。両指定における研究成果は授業の中で生かされています。文京では一斉指導による授業をベースに基礎・基本の定着を図りながら、生徒自らが授業に参加していく対話型の授業を積極的に展開しています。一人ひとりが課題を見つけ、疑問から仮説を立て検証し、それを発表する力です。この「探究型学習」を全学年における学びの中で生かしています。アクティブラーニングの展開と共に、ICTの活用による授業も取り入れ、生徒の学習意欲の喚起にも今年には新たに組み込んでまいります。このような多面的な学びの積み重ねが一人ひとりの「生きる力」につながります。五年後、十年後の変化の激しい社会においても力強く、世界という大きな舞台で活躍できる文京生を今年もしっかりと育ててまいります。

宿泊訓練を終えて

一年桃組 陣内 花繪

私は宿泊訓練で、たくさんのことを学ぶことが出来ました。まず、一日目の「団結力を高めるためのレッスン」

では、エアロビクスダンスのミツキーを踊りました。運動が苦手な私にはきつく感じましたが、学年全体で取り組む時の気持ちよさを感じる事ができました。エアロビクスダンスを通じてあまり親しくなかった友達とも笑い合うことができ、仲を深めることができました。

二日目には、学年全体でのレクリエーションでドッヂボール、大縄、トンネルくぐりの三種類を行いました。特にドッヂボールでは、クラスが一つになり、みんなで協力し合うことが出来、桃組が学年で一位になることができました。このことで、私は「コミュニケーション」の大切さや「チームワーク」の大切さを学ぶことができました。クラスのチームワークが深まったことがとてもうれしかったです。

また、大縄では大縄を回してくれる人や中心となつて声を出してくれる人、失敗をした時に励ましてくれる人、跳べない人がいると跳び方を教えてあげる人など、みんながそれぞれの役割を自然にこなしてくれました。そのため「私もみんなのためにがんばろう」と思うようになりました。

宿泊訓練のクラス目標が「クラスの仲間との仲を深める」でした。今まではなかなか自分の考えをいうことができなかったけれど、友達と話し合うことができ、友達の良いところをたくさん知ることができました。これからの学校生活でさらに絆を深められるように努力したいと思います。

今回の宿泊訓練で学んだことをいかに、先生方に教えていただいた誠実であることを常に意識しながら、楽しい中学生を送れるように全力でがんばりたいと思います。



写生会での出会い

二年菊組 富樫 伶衣

中学二年生になって初めての行事が写生会でした。私は、小さい頃に新宿御苑に行ったことがありましたが、大きくなってからは行っていないのであまり覚えていませんでした。だから、新宿御苑に行くとき、も

のすこい広さの公園で、色とりどりの花が咲き乱れていました。きれいな花がたくさんあったので、どれを描こうか、とても迷いました。描く場所を探していると、ピンクや赤のつじが咲いている場所を見つけ、ここにしようかと決めました。今までつじを見たことはあったけれど、絵に描いたことはありませんでした。よく観察すると、葉のしくみや花の色のグラデーションなど、新しい発見がたくさんありました。私はこれまで虫がついていることがあるので、花を好きではありませんでした。しかし、この写生会で、花の美しさをあらためて感じ、好きになりました。

また、今回は素敵な出会いもありました。それは、本当に偶然でした。私たちが絵を描いていたときに、海外から来た観光客の方々がたくさん通りかかったのです。私と友達は、あったけの勇気をふりしほり、知っている限りの英語を使って話しかけてみました。すると、私たちの英語力でも十分にコミュニケーションを取ることが出来たのです。私は、とても嬉しかったです。

この写生会でたくさん楽しい思い出が出来ました。海外の人とコミュニケーションが取れたこと、自信もつきました。これをきっかけとして、もっと海外の人と交流していきたいと思っています。



三年生になって

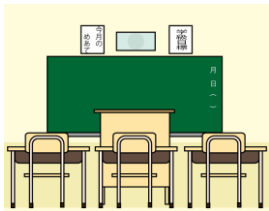
二年栗組 佐々木 彩花

また春が来た。文京学院大学女子中学校に入学して、三度目の桜を見たとき私は、去年とはまた何か違う一年が始まるのだと思った。

私は三年生という、中学最高学年である歳になった。三年生になってまず大変なことは勉強であると思う。一年生の時も、二年生の時も勉強は日を追うごとに難しくなる。実際私も、勉強は難しくなると感じることが、年々増えてきた。だからテストの点数は下がるばかりである。でも私はそこであきらめてはいけな**い**と思った。なぜなら、今ここであきらめてしまったら、将来の夢がかなわなくなったり、いい仕事に就けなくなったりしてしまう。そこで勉強面の私の目標は、テストの点数を上げるということを頑張ろうと思つている。

二年生になって、増えるものといえば後輩である。やはり最上級生となると後輩の面倒をみることに、指揮していく回数も増える。私も生徒会に入つて後輩に指示をしたり、部活動の部長になって、これからやることなどを伝えることが増えた。

生徒会では議長を務め、朝礼などで司会をすることが多々ある。そこで、どのように言えば、みんなに分かりやすく伝えられるのか、声量はどれくらいに上げればよいかなどを考え、実行している。でも、文章を読み上げる際に噛んでしまったり、緊張して声が小さくなることも少なくない。私の三年生になってのもう一つの目標は、先輩の面倒をしっかり見て、生徒会を頑張つて尊敬される先輩になりたいということである。勉強でも生活面でも努力することは、三年生になってこれから先も大切だと思う。だから私は、色々な面で精進していけるように頑張りたいと思う。これから先の自分の将来のために。



※「たけのこ」は本校HPでも見ることが出来ます。HPトップ画面【文女ーあやめ】をクリックし、次の画面左側下から3番目【一たけのこ】をクリックしてください。

宿泊訓練の写真

